



クラス通信



木田幼稚園
令和3年11月号

11月も下旬を迎えましたが、日中は20度を記録する日もあり、朝夕の寒暖差から体調を崩すお子様もみられます。

空気も乾燥し、コロナウイルス感染症に加えインフルエンザも流行し始めるこの時期、園内では引き続き手洗い、うがい、換気や加湿に留意しながら健康管理に努めます。

☆消防訓練

18日(木)に海部東部消防署より小川消防司令、山田消防司令、加藤消防士長、三野消防士をお迎えし、消防訓練を行いました。登園後の朝の自由遊び中に火災が起こった場合を想定し、各教師の指示・誘導の元、全園児が園庭へと避難しました。「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」の約束を守り、44秒という短時間で避難完了しました。

今後も毎月実施する防犯災害訓練を通して、いざという時の為の避難方法をお子様と共に確認し備えます。



☆おにぎりパーティー

18日(木)におにぎりパーティーを行いました。

2升炊きの炊飯器を2台使用し、計4升のお米を炊きました。炊飯器からお米が炊き上がるいい香りが漂ってくるとお子様達は「お腹がすいた〜」「早くおにぎりパーティーしよう!」とワクワクドキドキ。各クラスで各国(日本・オーストラリア・フランス・スリランカ等)の塩やふりかけを使っておにぎりを握り、理事長先生から差し入れて頂いたのりを付けて完成!大きな口でパクッ「僕が作ったおにぎり美味しい!」「お米が甘い!」「もっと食べたい!」と、どのお子様も笑顔いっぱいおにぎりを頬張っていました。



☆園児報恩講

11月28日は親鸞聖人がお亡くなりになられた日です。幼稚園では次週29日(月)に福田寺で園児報恩講を行います。いつも皆のことを見守って下さるよう親鸞様に感謝し、福田寺ご住職でもある理事長先生と共に心静かにお参りします。

☆ほし組

楽器遊びでは音楽指導(楽器)の専任講師 小川先生から指導していただいている各楽器の扱い方、持ち方、きれいな音の出し方を意識して取り組んできました。初めは、音符、楽譜の見方から始まり、教師の伴奏や友達ともリズムを合わせて合奏を楽しむ事ができるようになりました。

合奏の中では今年度新しく購入したジャンベやその他ギャザリングドラム、コンサートフロアバスドラム等も使用し取り組んでいます。「ボックスフォン・メタルフォンは鍵盤の真ん中を叩くんだよね」「和太鼓は真ん中を叩いた時と、端を叩いたときに音が違うの

がおもしろいね」「ジャンベは大きさによって音の高さが違うんだよ」「ギャザリングドラムは皆で演奏できるから楽しいね」と、それぞれの楽器の音色の違いを楽しみながら合奏に取り組んでいます。今後も音楽発表会に向けて取り組みを重ねていきます。



☆ぺんぎん組

12月音楽発表会に向けて、音楽活動を中心に保育を進めています。歌唱や合奏、ミュージカル・ムーブメント。中でも合奏は、年中組になり初めて取り組むので皆とても楽しみにしています。

年少組の頃は、各自が楽器の音を楽しんでいましたが、合奏では自分の奏でる音だけではなく、友達の奏でる音にも耳を傾け、皆で気持ちを1つにして取り組みます。「今回は、大太鼓がやりたい!」「タンバリンのトレモロが上手になったよ!」「ジャンベっておもしろい音があるね」と毎日目標を持って、楽しく取り組んでいます。音楽発表会での発表をどうぞお楽しみに。



☆りす組

10月、11月と新しいお友達が入園し、22名となったりす組はにぎやかで、毎日楽しく笑顔で過ごしています。

園では専任講師による指導、知育、遊びといったバランスの良い保育を行なっていますが、今のりす組さんが大好きなのは英語!セバスチャン先生の英会話、英語で遊ぶの時間やフォニックスを使ってネイティブの英語のシャワーを浴びています。「星はStar、三角はTriangleだよ!」「Twinkle twinkle little star ♪」と学んだことを嬉しそうにお話ししてくれます。「おにぎりって英語でなんて言うのかな?」といった質問もお子様から聞かれることもあり、お子様の興味関心はさらに高まっています。



☆きりん組

1学期は個々の遊びをしていたお子さん達も最近では登園するとすぐにお友達同士が集まり楽しい会話・遊びが始まります。“○○ちゃん、遊ぼう!”“お部屋のガラス窓に虫が止まっているよ!”“取ってあげるよ!”“大丈夫、先生に言ってみよ!”と、1人1人の表情やしぐさ、会話は日毎に落ち着き頼しさもあふれてきました。園での沢山の行事を経験していく中で驚いたり楽しんだりしながら満足感や自信を持ち心もぐんと成長しているようです。

園生活の中での基本的な生活習慣の自立に向けても衣服の着脱や食事、排泄、身のまわりの整理整頓など自ら積極的に取り組む姿も見られどのお子さんも毎日頑張っています。ご家庭でも自分で出来る事は取り組む機会を作り、ほめたり、はげましたりしながら温かく見守り次への意欲を伸ばして下さい。

